

## あったかいまち「ふじみ野」を目指して タウンミーティング

日 時 平成26年11月22日（土）午後2時～3時30分  
会 場 駒林会館（駒林自治会）  
天 気 晴れ

参加者 19人



### 主な意見等

参加者 来年4月10日富士見市にららぽーとがオープンします。駒林地区は、ららぽーとが近いので、交通量の増大することが予想されますが、対応について教えてください。またオープンにあわせてでしょうか、さぎの森小学校東側の道路が拡幅されましたが、その先の富士見市のところは2メートルとなっています。川越方面から裏道で来た場合、小学校から脇に入ると向こうからの保護ができません。対策はありますか。

市 長 それを回避する対策は具体的にはありませんが、交通的な影響について、富士見市とも協議をさせていただいています。ららぽーとができる以前からそこを知っている人たちは抜け道に利用しています。ららぽーとができるとさらに増えることが予測できます。実際にそうになってからの話になってしまいますが、改善すべき手立てはうっていきたいと思っています。国道254号バイパスの改修で交通渋滞の対策はされてきていますが、周辺については、様子をみなければという状況です。

参加者 3、4年前に新聞でふじみ野市は埼玉県で住んでみたい市の4番目くらいでした。ありがたいなと感心しました。

2つ、私が感じていることを申し上げます。一番初めは、トイレの問題です。市役所のトイレはほとんど和式トイレなので、できれば洋式トイレにかえてほしい。会議時間が長いと最初から分かっている人は、イトーヨーカドーのトイレに寄ってから、市役所に行くと言っています。できればウォシュレットもつけてほしいですね。あと一つは、私は自転車でほとんど行動していますが、埼

玉県では自転車事故が多く、ふじみ野市でも多いようです。夜間ライトつけてつけない人が非常に多いと感じています。できれば予算はなかなか難しいと思いますが、敬老祝い金等を削っても老人家庭には1台でもライトをつけてもらえるように補助し、設置については市内の自転車販売店や商工会を利用してもらうようにしたらどうですか。

市長 自転車の話ですが、自転車事故の割合はふじみ野市では非常に高いといわれています。埼玉県としても自転車事故が多く、全国的にみても交通事故の中で自転車事故の割合が高い状況です。埼玉県は自転車普及率及び利用率が非常に高いので、自転車事故も多いという状況です。特にライトをつけない人が多いというご指摘ですが、この提案は大変素晴らしいと思います。敬老祝い金を削減してでも、そのお金をライトに回して、配布できたらというお話は、我々ではなかなか発想できないのでありがたいです。財政が厳しい中で、このような話は先ほどの元気健康好循環と同じで、なにか健康づくりのために浮いたお金で健康づくりに使っていこうということです。だから本当はお年寄りのためものということでお祝いから安全を守るためへと変わっていくのは非常にいい発想ですが、市長としては厳しい財政なのでこれまで敬老祝い金を減らした経緯があります。さらに減らすのは怒られてしまうかもしれませんが、説明させてもらえれば理解は得られるのかなとも思いますので、検討させていただきたいと思います。

市役所のトイレの話は、多くの市民の皆様の話を代表して質問していただいた内容で、我々としてもまったくその通りだと考えています。今回の市役所の大規模改造で、トイレを洋式にしていく方向で進めています。また学校のトイレも洋式化を進めています。公民館などのトイレも洋式化する計画です。ご期待に応えられるようになると思います。

参加者 ヤオコーの近くに駒林区画記念館ができました。何のための建物なのでしょう。

市長 区画整理が行われて、区画整理組合も事業の清算の最終段階に入っています。事業で土地の換地を行いながら、道路整備をしたりした中で、区画整備組合の費用負担で区画整理記念館という名称で建設されました。後々あそこに住宅等が増えてきて、一つの自治組織というものが形成されたり、あるいは地域の集会場のようなものが必要になったりするであろうということで、将来を見越して造っていただきました。区画整理組合が解散した後に、一般社団法人という形でそれを維持するための組織が立ち上げられて、最終的に地域で活用いただく集会施設のために整備をいただいたという状況です。現段階では、地域の方々に会議室や2階のホールを利用できるようにご協力をいただいています。

参加者 今造る意味はあるのでしょうか。

市長        区画整理組合でも資金があります。最終的に組合を解散するにあたって、地権者の協力で事業を進めさせていただいたので、地域貢献のために、将来このような建物が必要になるであろうとことで、公的ではありませんが組合の皆様のお金で造っていただいたわけです。組合は精算行為が終了すると解散しますが、一般社団法人で維持していく考えです。市も自治組織として活用していく見込みがあるということでお金を負担します。現段階ですと無料で使える状況です。

参加者        何のためにあるのか、不思議でした。

市長        今日、たまたま区画整理組合の理事長さんがいらっしゃいますので、説明してください。

参加者（理事長）    開館につきましては、市のお金ではなく、組合の残余金で造りました。区画整理というのは、皆さんの土地を3割ぐらいいだして、道路や公園とか造って保有地を造ります。保有地を一般の方に売って事業資金を造ります。

参加者        市とは別なのですか。

参加者（理事長）    別です。ただ区画整理というのは、市と一緒にやる事業で将来的には地域住民と広域的なまちづくりをするもので、その拠点となる施設です。ですから、市役所のお金ではなく、区画整理組合が地域のためのコミュニティのための場として造りました。道路や公園だけを造るのではなく、人とのネットを作っていくのがまちづくりというポリシーで造りました。

参加者        そういうことを知らなかったので、余計な建物ができたのかなと思いお話をさせていただきました。

参加者        昨年度あたりから、開発業者が住宅を回って工業誘致の場所を確保する働きがあります。20ヘクタールを確保してその中の8割が賛成したら、工業誘致の地域として認められると聞きました。こういうことに関して市は、業者が動いていることについて把握されていると思いますが、私たちは今後の状況を見て、また先だってこれからの農業をどうしたらいいかという話し合いを市が行いましたで、どうしようかという感じです。ですが、後継者がかなり少ないので、休有地等の場合は二つ返事で返事してくれますというような話も聞きました。市としてはそういう規定がクリアできれば、工業用地として認めるのでしょうか。

市長        市で認めるということではありません。農業振興地域となっていますので、もし地権者の皆さんがそういう希望があっても、農振の除外をして農地転用の手続きを踏んでいかなければなりません。私は個人的には企業誘致をし、税収

の確保を図っていききたい、あるいは雇用を生み出していきたいという気持ちがありますが、企業誘致をするといっても、農業を一生懸命されている方々に勝手に商売をやめてくださいとは決して言いません。私が市内の農家の方々とお話ししていく中で、将来子供たちが継いでいけるのか、特に都市近郊農業ということで地方の大規模な水田等と違い、いろんな課題があり、いろんな声があります。そのエリアの中で農業を続けたい人が意見を集約しながら、続けていくという方策ですとか、そういうものを検討しながら進めていかなければいけないと思っています。今、民間の事業者が動いていることは把握しています。市がお願いしている訳ではありませんが、企業誘致を政策的に打ち出すと国道254号バイパス沿い、あるいは農業系の土地利用として亀久保の大野原の地域でも民間事業者が動いています。民間事業者はいろいろなところで手掛けきた実績があるので、行政以上に農家の声を知っている場合もあります。民間事業者には農家の方に誤解を与えたり、あまり無謀に押し進めたりしないように指導いたしました。ただ民間の力を活用して、企業誘致されているところは各所にあります。川島のインターチェンジの周辺もそのひとつです。これからはできるだけ、農業を一所懸命やっている人たちの声を聴きながら、進めていくことが必要だと思っています。

参加者 先ほど経常収支比率が改善されているという良い話を聞きましたが、他方、江川緑道の瓦が取れたか外れたままで修繕されていないというような状況もあります。必要なところは即座に修繕しないと、市民の教育上よろしくないのではないのでしょうか。ましてや、あそこは通学路になっていますので、是非そういう視点も加えてほしいと思っています。

もう一つあります。自転車は車道を走るようになっていますが、長年の習慣でしょうか、歩道を走る自転車が多いと感じています。歩道に植林してある場合、自転車とすれ違うとき歩くほうがよけると植え込みのほうによけるので、植え込みがなければよけやすいと思います。これから改良するようなときがあれば、見直していただければと感じます。

市長 説明が悪かったかもしれません。経常比率については改善しましたが、修繕とか事業費について、決して大幅に削ったわけではなくて、市内各所の修繕の必要なところや子どもたちの教育上残したほうがいいものなどについては、予算を確保して実施しています。危険を排除するということで公園の遊具点検を行い、老朽化して入れ替えなければいけない遊具の撤去を先行しましたところ、かなり批判をされてしまいました。地域にはよってはお年寄りが増えてきたので、ベンチにしてもらったほうがいいのかという声もあったりするので、そういう意見を反映させながら順次進めています。

ベルト帯の植樹についても、いろいろ障害になっていて、例えば根っこが歩道を持ち上げてしまったり、ご指摘のようによけるのに幅がなかったりというような状況ですので、今後改修の時にはご意見を参考にさせていただきたいと思っています。

参加者 昨年度のタウンミーティングでも申し上げましたが、さぎの森小学校の後ろに防災無線がありますが、学校の南側は学校が壁になって聞こえません。

市長 今後の対応を担当の方から会長さんにお伝えします。たしかに聞こえづらいエリアが市内何か所かあるのは承知しています。

参加者 防災訓練のお手伝いをさせていただく機会がありました。いくつかの自治会が1つの体育館に集まって避難所の運営をするので、連絡調整が難しいです。細部のところまでできない状況です。できれば各自治会の人に、市がここまでやってほしいというマニュアルを示していただければと思います。情報がつかみきれないと思います。

市長 大事なことだと思います。防災訓練をする前に、図上訓練や避難所のシミュレーションをやっていますが、実はやるたびに課題を見出すことが一番大事だと思っています。できれば今は自治会の役員さんなど限られた人数の中でやっていただいているが、役員とは別に災害の担当の人、協力してくれる人を増やして、例えばさぎの森小学校だったら、駒林、下福岡、新田等と協議するような場をもうけた方がいいと考えています。市としてもそういうものを進めていただくようお願いしてくことも考えてまいります。